

## 平成24年度（2012年）事業報告

（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

### 1. 試合の管理運営に関して

(1) 世界(男子19/女子9/ユース男子2)、東洋太平洋(男子21/女子3)、日本(33)の別記タイトルマッチ及びその他合計223興行(1762試合)の試合管理を行う。

[別表1参照]

(2) 選手、マネージャー、他ボクシング従事者に対する資格審査並びにライセンスの発給。

ライセンスの発行数 4,449 (内：外国人ボクサー186名)

(内訳) ボクサー(2,476 内女子106名)、プロモーター(80)、クラブオーナー(286)、マネージャー(392)、トレーナー(593)、セコンド(414)、マッチメーカー(4)、レフェリー(87)、タイムキーパー(10)、アナウンサー(9)、ドクター(90)、進行(8)。

(3) プロボクサー新人テスト実施

《男子》受験者総数(C級)：	768名	合格者：	499名 (合格率64.9%)
〃    (B級)：	11名		11名 (合格率100%)
《女子》受験者総数(C級)：	30名	合格者：	24名 (合格率80.0%)
〃    (B級)：	0名		0名

(4) 日本ランキング決定、発表(月例)

(5) 試合役員研修会(東京地区月日他原則毎月、他4地区は随時)  
採点基準、レフェリング(反則処置)、事故防止他。

### 2. 安全防護に関して

(1) JPBA・JBC合同医事講習会(7月2日、於・後樂園展示会場)

[講師] 谷 諭コミッションDr. (東京慈恵会医科大学・脳神経外科教授)  
「リング事故報告」及び「脳震盪とその対応」

大槻 穰治コミッションDr. (東京慈恵会医科大学・救急部准教授)  
「スポーツにおけるメディカルチェック」

佐藤 順コミッション Dr. (駿河台日大病院救命救急センター室長)  
「スポーツ中の突然死・心肺停止」

J P B A ・ J B C 合同医事講習会が後楽園展示会場で開催された。5月5日に関西地区で起こったリング事故報告、並びに急性硬膜下血腫に至る過程の脳震盪などについて講義された。参加者 120 名。

## (2) リング事故

寺田 允 (アポロ) : 5月5日淀川区民センターにおいて、土居祐介 (塚原京都) との8回戦で8ラウンドTKO敗後、急性硬膜下血腫にて開頭手術。

## 3. 国際交流について

### (1) 国際会議に代表派遣

#### (a) W B A (世界ボクシング協会) 第91回年次総会

(10月28日～11月3日、インドネシア・ジャカルタ、スルタンホテル)

協議事項:

- \*役員改選
- \*メディカルセミナー
- \*オフィシャルミーティング
- \*ランキング委員会
- \*その他

(出席者) JBC 関係: 秋山弘志専務理事 羽生孝次 島川威 原田武夫

JPBA 関係: 鈴木正臣 (角海老宝石) 中屋一生 (八王子中屋)  
井岡弘樹 (井岡) 枝川孝 (六島) 他

#### (b) W B C (世界ボクシング評議会) 第50回年次総会

(12月3日～12月7日、メキシコ・カンクン オアシスホテル)

協議事項

- \*役員改選
- \*W B C ワールドカップについて
- \*ボクサーの国際ビザの導入
- \*指名試合
- \*オフィシャルセミナー (レフェリー及びジャッジミーティング)
- \*その他 (2013年開催国は総会時点では未定)

(出席者) JBC 関係: 森田健事務局長 浦谷信彰 福地勇治

JPBA 関係: 本田明彦 (帝拳)、ジョー小泉 (リングジャハン)  
鈴木正臣 (角海老宝石) 他

#### (c) O P B F (東洋太平洋ボクシング連盟) 51回年次総会

(12月4日、WBC総会同所)

\*各種報告

\*フリーディスカッション

(2)その他

(a)WBA、WBC、OPBF、並びに各国コミッション関係者との交流(役員来日時随時)

(b)海外でのタイトルマッチに役員派遣(内訳:WBC3名、WBA2名、OPBF3名)  
[別表2参照]

(c)国際問題の処理について

(3)海外遠征並びに来日選手の各種試合契約の承認について

4. ボクシング功労者の表彰について

(1)2012年度プロ・アマ年間優秀選手表彰式。

1月25日東京ドームホテル(2013年1月6日選考)

プロの部10部門(15名) アマの部6部門(10名)

(2)世界王者獲得並びに各種チャンピオンの引退、他功労表彰について。

[引退]

\*元WBA世界スーパー・フライ級チャンピオン 清水智信(金子)引退。

\*元日本ライト級チャンピオン 嶋田雄大(ヨネクラ)引退。

\*元OPBFスーパー・バンタム級チャンピオン 大橋弘政(HEIWA)引退。

\*元WBC世界スーパー・バンタム級チャンピオン 西岡利晃(帝拳)引退。

\*元WBC女子世界ライト・フライ級チャンピオン 富樫直美(ワタナベ)引退。

\*元OPBF女子フライ級チャンピオン 四ヶ所麻美(フラッシュ赤羽)引退。

[獲得]

\*WBC世界スーパー・フライ級チャンピオン 佐藤洋太(協栄)獲得

\*WBA女子世界スーパー・フライ級チャンピオン 山口直子(竹原&畑山)獲得

\*WBC世界フライ級チャンピオン 五十嵐俊幸(帝拳)獲得

\*WBA世界ライト・ミニマム級チャンピオン 宮尾綾香(大橋)獲得

\*WBC世界スーパー・フライ級チャンピオン 河野公平(ワタナベ)獲得

\*WBA世界ミニマム級チャンピオン 宮崎亮(井岡)獲得

\*WBA世界ライト・フライ級チャンピオン 井岡一翔(井岡)獲得

(3)JBC試合役員等功労表彰

5. 機関誌の発行について

(1)ボクシング広報(月刊)

(2) ボクシング年鑑

6. 選手記録（戦績、診断の両記録カード）、ボクシングに関する資料の収集、作成並びに保存（継続）

7. その他

(1) (財) 日本ボクシングコミッション 第35回定例理事会・実行委員会（2月28日、後楽園飯店）

- (a) 2011年度事業報告、同収支決算報告承認
- (b) 2012年度事業計画、同収支予算承認
- (c) 新公益法人移行について

(2) (財) 日本ボクシングコミッション臨時理事会（10月12日、後楽園飯店）

- (a) 新公益法人制度に基づく一般財団法人認可の為の「最初の評議員の選任方法」決議
- (b) 倫理委員会委員選任の承認
- (c) 委員会の委員長及び委員の選任方法の変更

(3) (財) 日本ボクシングコミッション定時理事会・実行委員会（12月17日、後楽園飯店）

- (a) 一般財団法人への移行申請手続き
- (b) 定款制定
- (c) 公益目的支出計画案の承認
- (d) 最初の理事及び監事候補者の選定並びに代表理事就任予定者の選任
- (e) 平成25年度事業計画及び収支予算案承認
- (f) 評議員選定委員会の設置及び選定委員選任
- (g) 評議員選定委員会へ推薦する候補者選定

(4) 物故者

- (a) 桜井孝雄（ONE・TWO スポーツジム会長）1月10日死去（70歳）
- (b) 内田正一（元JBC試合役員会会長）4月14日死去（73歳）
- (c) 山本末廣（元中外ジム会長）4月16日死去（67歳）
- (d) 石井広三（KOZOジム会長）7月5日死去（34歳）
- (e) 益戸久尚（日東ジム会長）7月8日死去（81歳）
- (f) 三平勇（極東ジム会長）11月11日死去（77歳）

(5) 紛争処理

(6) JBC/JPBA（ボクシング協会）合同会議

(7)アマチュア関係者との協議

年間優秀選手表彰選考。アマチュアとの交流について。

(8)処分

(a) 蔦野哲平（帝拳：ボクサー）

平成24年3月26日よりライセンス3ヶ月停止処分（5月31日付）

平成24年3月26日、長野県において窃盗容疑で逮捕された。不起訴となったものの、このことはボクシング界の社会的信用を貶める結果となった。

(b) 安達寿彦（岐阜ヨコゼキ：ボクサー）

平成23年12月4日よりライセンス無期限停止処分（5月31日付）

平成23年12月4日、岐阜県において自動車運転過失傷害及び道路交通法違反で逮捕され有罪判決を受けた。このことはボクシング界の社会的信用を著しく貶める結果となった。

(c) 坂本基歳（井岡：マネージャー） 嚴重注意処分（5月31日付）

平成24年4月30日、堺市民会館において酔った観客の暴言に腹を立て乱闘騒ぎを起こした。このことはボクシング界の社会的信用を著しく貶める結果となった。

(d) 井岡弘樹（井岡：クラブオーナー） 口頭による嚴重注意処分（5月31日付）

前項(c)の事案につき、管理監督すべき立場にあるクラブオーナーに対し注意喚起するもの。

(e) 畠山昇(全日本パブリック:トレーナー)

平成24年6月22日よりトレーナーライセンスの6ヶ月停止処分(6月22日付)

試合終了後、畠山はレフェリーの裁定を不服とし、観客の注目するリング上でレフェリーを突き飛ばす行為に及び、スポーツとしてのボクシングの信用を著しく貶めた。

(f) 田中敏朗（全日本パブリック：クラブオーナー） 嚴重注意処分（6月22日付）

前項(e)の事案につき、クラブオーナーとしての監督責任は免れない。

(g) 林隆治（マッチメーカー）

8月13日よりライセンス無期限停止処分（8月17日付）

林隆治マッチメーカーは、JBCの元職員と共謀し、事業において競合する別団体乃至会社の設立を図るなど、ボクシング界の秩序、風紀を乱したことによる。

(h) 瀬端幸男（reason：クラブオーナー）

平成24年8月10日、瀬端幸男（reasonジム）は東京地裁より強姦未遂罪にて懲役2年4月の実刑判決を受けた。このことはボクシング界の社会的信用を著しく貶める結果となった。

〔別表1〕

(1) 世界タイトルマッチ (36)

1. WBA 女子世界ライト・ミニマム級 (2月19日 よみうり文化ホール)  
○安藤麻里 (フューチャー) 判定 マリア・ヒメネス (メキシコ) ● #4
2. WBA 女子世界ミニマム級 (2月19日 よみうり文化ホール)  
○多田悦子 (フューチャー) 判定 マリア・サリナス (メキシコ) ● #7
3. WBC 世界スーパー・フライ級 (3月27日 後樂園ホール)  
●スリヤン・ソールンビサイ (タイ) 判定 佐藤洋太 (協栄) ○ #4
4. WBA 世界スーパー・フライ級王座統一戦 (4月4日 横浜アリーナ)  
休養●清水智信 (金子) TKO9R2'15" テーパリット・ゴージャットジム (タイ) ○正規
5. WBA 世界バンタム級 (4月4日 横浜アリーナ)  
○亀田興毅 (亀田) 判定 ノルディー・マナカネ (インドネシア) ● #11
6. WBC 世界バンタム級 (4月6日 東京国際フォーラム)  
○山中慎介 (帝拳) 判定 ビック・ダルチニャン (オーストラリア) ● #4
7. WBC 世界スーパー・フェザー級 (4月6日 東京国際フォーラム)  
○粟生隆寛 (帝拳) 判定 ターサク・ゴージャットジム (タイ) ● #1
8. WBA 世界フェザー級 (5月5日 シンガポール)  
○クリス・ジョン (インドネシア) 判定 木村章司 (花形) ● #14
9. WBA 世界ミドル級 (5月12日 ウクライナ)  
○ゲンナジー・ゴロフキン (カザフスタン) TKO3R1'16" 淵上誠 (八王子中屋) ● #8
10. WBC 女子世界アトム級 (6月19日 後樂園ホール)  
○小関桃 (青木) 判定 ジュジース・ナガワ (フィリピン) ● #8
11. WBC・WBA 世界ミニマム級王座統一戦 (6月20日 ボディメーカーコロシウム)  
WBC 王者○井岡一翔 (井岡) 判定 八重樫東 (大橋) ●WBA 王者
12. WBC 女子世界ライト・フライ級 (6月23日 メキシコ・ペエブラ)  
●富樫直美 (ワタナベ) 判定 エスメラルダ・モレノ (メキシコ) ○ #1
13. WBC 世界スーパー・フライ級 (7月8日 横浜文化体育館)

○佐藤洋太（協栄） 判定 シルベスター・ロペス（フィリピン） ●#1

14. WBA 女子世界スーパー・フライ級（7月9日 後樂園ホール）

●天海ツナミ（アルファ） 判定 山口直子（白井・具志堅スポーツ） ○#5

15. WBA 女子世界バンタム級（7月14日 メキシコ・テピク）

○ジャネット・ペレス（メキシコ） 判定 東郷理代（アルファ） ●

16. WBA 女子世界フライ級（7月14日 アメリカ・ロサンゼルス）

○マリアナ・フアレス（メキシコ） 判定 真道ゴウ（クラトキ） ●#3

17. WBC 世界フライ級（7月16日 ウイングハット春日部）

●ソニー・ボーイ・ハロ（フィリピン） 判定 五十嵐俊幸（帝拳） ○#1

18. WBA 世界スーパー・フェザー級（7月16日 ウイングハット春日部）

△内山高志（ワタナベ） TD3R1'15" マイケル・ファレナス（フィリピン） △#6

19. WBA 世界スーパー・フライ級（9月1日 住吉スポーツセンター）

○テーパリット・ゴージャットジム（タイ） 判定 名城信男（六島） ●#10

20. WBA 女子世界ライト・ミニマム級（9月16日 よみうり文化ホール）

●安藤麻里（フューチャー） 判定 宮尾綾香（大橋） ○#11

21. WBA 女子世界ミニマム級（9月16日 よみうり文化ホール）

○多田悦子（フューチャー） 判定 柴田直子（ワールドスポーツ） ●#3

22. WBA 世界ミニマム級暫定（10月6日 メキシコ・パレンケ・デ・ラ・フェリア）

○ヘスス・シルベストレ（メキシコ） TKO4R0'40" 三田村拓也（ワールドスポーツ） ●  
#8

23. WBA 女子世界バンタム級（10月6日 メキシコ・テピク）

○ジャネット・ペレス（メキシコ） 判定 天海ツナミ（アルファ） ●

24. WBC 世界スーパー・バンタム級（10月13日 アメリカ・ロサンゼルス）

WBC 王者●西岡利晃（帝拳） TKO9R1'54" ノニト・ドネア（フィリピン） ○WBO&IBF  
王者

25. WBC 世界スーパー・フェザー級（10月27日 東京国際フォーラム）

●栗生隆寛（帝拳） 判定 ガマリエル・ディアス（メキシコ） ○#4

26. WBC 女子世界ミニ・フライ級（10月28日 古川総合体育館）  
○藤岡奈穂子（竹原慎二&畑山隆則） 判定 ビクトリア・アルゲッタ（メキシコ）●#3
27. WBC 世界フライ級（11月3日 ゼビオアリーナ仙台）  
○五十嵐俊幸（帝拳） 判定 ネストール・ナルバエス（アルゼンチン）●#7
28. WBC 世界バンタム級（11月3日 ゼビオアリーナ仙台）  
○山中慎介（帝拳） TKO7R0'36" トマス・ロハス（メキシコ）●#7
29. WBA 女子世界スーパー・フライ級（11月12日 後樂園ホール）  
○山口直子（白井・具志堅スポーツ） 判定 フディス・ロドリゲス（メキシコ）●#9
30. WBA 世界バンタム級王座統一戦（12月4日 ボディメーカーコロシウム）  
○亀田興毅（亀田） 判定 ウーゴ・ルイス（メキシコ）●#1
31. WBC 女子世界アトム級（12月17日 後樂園ホール）  
○小関桃（青木） 判定 花形冴美（花形）●#9
32. WBA 世界ミニマム級王座決定戦（12月31日 ボディメーカーコロシウム）  
#2○宮崎亮（井岡） 判定 ポンサワン・ポープラムック（タイ）●#4
33. WBA 世界ライト・フライ級王座決定戦（12月31日 ボディメーカーコロシウム）  
#2○井岡一翔（メキシコ） TKO6R2'50" ホセ・ロドリゲス（メキシコ）●#5
34. WBA 世界スーパー・フライ級（12月31日 大田区総合体育館）  
●テーパリット・ゴーキャットジム（タイ） KO4R2'08" 河野公平（ワタナベ）#8
35. WBC 世界スーパー・フライ級（12月31日 大田区総合体育館）  
○佐藤洋太（協栄） 判定 赤穂亮（横浜光）●#5
36. WBA 世界スーパー・フェザー級（12月31日 大田区総合体育館）  
正規○内山高志（ワタナベ） TKO8R3'00" ブライアン・バスケス（コスタリカ）●暫定

（2）東洋太平洋タイトルマッチ（25）

1. ライト級（2月28日 後樂園ホール）  
○荒川仁人（八王子中屋） 判定 三垣龍次（M.T）●WBA#12、WBC#8
2. スーパー・フライ級（3月3日 神戸市立中央体育館）  
○赤穂亮（横浜光） 判定 石崎義人（真正）●#15(日本#7)

3. バンタム級（3月18日 名古屋国際会議場）  
○ロリー松下（カシミ） KO1R1'30" 李志煥（韓国）●#15
4. スーパー・バンタム級（3月18日 刈谷市あいおいホール）  
○小國以載（VADY） TD9R0'21" 大橋弘政（HEIWA）●#12
5. スーパー・ミドル級（3月22日 後樂園ホール）  
○清田祐三（フラッシュ赤羽） TKO7R 終了 松本晋太郎（ヨネクラ）●#10
6. ウェルター級（3月27日 後樂園ホール）※日本王座も賭ける  
○渡部あきのり（協栄） TKO11R1'59" 斉藤幸伸丸（輪島功一）●#2(日本#1)
7. ミドル級（4月9日 後樂園ホール）  
○淵上誠（八王子中屋） TKO10R0'44" 郭京錫（韓国）●#1
8. 女子ライト・フライ級（4月10日 後樂園ホール）  
○柴田直子（ワールドスポーツ） 判定 孫チョーロン（韓国）●#1
9. フェザー級（4月30日 堺市民会館）  
○大沢宏晋（大星） TKO9R1'34" ロバート・コパ・パルエ（インドネシア）●#6
10. ライト・フライ級（6月20日 ボディメーカーコロシウム）  
○宮崎亮（井岡） 判定 マイケル・ランドロ（フィリピン）●#13
11. スーパー・バンタム級（7月14日 赤穂文化会館）  
○小國以載（VADY） 判定 芹江匡晋（伴流）●WBA#11、WBC#10
12. スーパー・フライ級（8月13日 後樂園ホール）  
○赤穂亮（横浜光） TKO8R2'58" 戸部洋平（三迫）●#4(日本#1)
13. ライト級（8月13日 後樂園ホール）  
○荒川仁人(八王子中屋) TKO8R2'59" 嶋田雄大(ヨネクラ)●#6(日本#1)
14. フライ級（9月22日 フィリピン/セブ）  
○ロッキー・フエンテス（フィリピン） 判定 李明浩（大阪帝拳）●#4
15. フェザー（9月23日 阿倍野区民センター）  
△大沢宏晋（大星） 判定 上野則之（RK 蒲田）△#12(日本#6)

16. バンタム級（9月23日 金沢産業展示館）

★東洋太平洋バンタム級タイトルマッチ 12 回戦

○ロリー松下（カシミ） TKO9R0'36" 船井龍一（ワタナベ） ●#5(日本#6)

17. スーパー・ミドル級（10月6日 後楽園ホール）

○清田祐三（フラッシュ赤羽） TKO6R2'00" 三浦広光（帝拳） ●(日本#1)

18. ミドル級王座決定戦（10月12日 日野市市民の森ふれあいホール）

○淵上誠（八王子中屋） TKO6R 終了 マーロン・アルタ（フィリピン） ●#1

19. 女子バンタム級王座決定戦（11月4日 松下IMPホール）

#1●川西友子（大阪帝拳） 判定 東郷理代（アルファ） ○#2

20. 女子スーパー・フライ級王座決定戦（11月12日 後楽園ホール）

#2○つのだのりこ（白井・具志堅スポーツ） 判定 稲元真理（熊谷コサカ） ●#5

21. スーパー・バンタム級（11月18日 神戸サンボーホール）

○小國以載（VADY） 判定 ロリ・ガスカ（フィリピン） ●#5

22. ウェルター級（11月19日 後楽園ホール）

○渡部あきのり（協栄） 判定 プラウエート・シンワンチャー（タイ） ●#1

23. フライ級（12月18日 後楽園ホール）

○ロッキー・フエンテス（フィリピン） 判定 奈須勇樹（角海老宝石） ●#9

24. スーパー・フライ級王座決定戦（12月19日 後楽園ホール）

#8●江藤大喜（白井・具志堅） 判定 アーサー・ビラヌエバ（フィリピン） ○#2

25. ヘビー級王座決定戦（12月31日 ボディメーカーコロシウム）

#2●藤本京太郎（角海老宝石） TKO5R0'57" ソロモン・ハウモノ（オーストラリア） ○#1

（3）日本タイトルマッチ（35）

1. フライ級王座決定戦（1月26日 後楽園ホール）

WBC#13○粉川拓也（宮田） 判定 池原繁尊（横浜光） ●#1

2. スーパー・ウェルター級王座決定戦（2月4日 後楽園ホール）

#1○中川大資（帝拳） TKO10R0'58" 切間庸裕（折尾） ●#3

3. ミドル級王座決定戦（2月4日 後楽園ホール）  
#1●カルロス・リナレス(帝拳) KO7R0'39" 湯場忠志(都城レオスポーツ)○#2
4. スーパー・ライト級（2月13日 後楽園ホール）  
●和宇慶勇二(ワタナベ) KO7R1'34" 岩渕真也(草加有沢) ○#1
5. スーパー・バンタム級（2月13日 後楽園ホール）  
○芹江匡晋(伴流) 判定 石本康隆(帝拳)●#1
6. バンタム級（3月3日 後楽園ホール）  
○岩佐亮佑(セレス) KO1R3'00" 村井勇希(グリーンツダ) ●#2
7. ライト級（3月6日 後楽園ホール）  
○加藤善孝(角海老宝石) 判定 近藤明広(日東) ●#1
8. ライト・フライ級（3月12日 後楽園ホール）  
△黒田雅之(川崎新田) 判定 田口良一(ワタナベ) △#14
9. スーパー・フライ級王座決定戦（3月27日 後楽園ホール）  
#2●翁長吾央(大橋) 判定 帝里木下(千里馬神戸) ○#1
10. フェザー級（4月9日 後楽園ホール）  
○天笠尚(山上) 判定 上野則之(RK 蒲田) ●#1
11. ミニマム級（4月10日 後楽園ホール）  
○三田村拓也(ワールドスポーツ) TKO9R1'52" 中島敏浩(久留米櫛間) ●#1
12. フライ級（4月26日 後楽園ホール）  
○粉川拓也(宮田) 判定 林徹磨(セレス) ●#1
13. スーパー・フェザー級（5月5日 後楽園ホール）  
●岡田誠一(大橋) TKO8R1'06" 金子大樹(横浜光) ○#1
14. スーパー・ウェルター級（6月2日 後楽園ホール）  
●中川大資(帝拳) 判定 柴田明雄(ワタナベ) ○#1
15. ミドル級（6月11日 後楽園ホール）  
○湯場忠志(都城レオスポーツ) TKO2R2'04" 氏家福太郎(新日本木村) ●#1
16. スーパー・ライト級（6月29日 後楽園ホール）

- 岩渕真也（草加有沢） 判定 小澤剛（18 鴻巣） ●#7
17. バンタム級（7月7日 後楽園ホール）  
○岩佐亮佑（セレス） TKO7R1'49" 益田健太郎（新日本木村） ●#4
18. ウェルター級（7月8日 横浜文化体育館）  
○渡部あきのり（協栄） TKO6R1'42" 山川和風（金子） ●#10
19. フェザー級（7月20日 後楽園ホール）  
○天笠尚（山上） 判定 渡邊卓也（青木） ●#8
20. スーパー・フライ級（7月22日 神戸サンボーホール）  
○帝里木下（千里馬神戸） 判定 角谷淳志（金沢） ●#2
21. ライト級（7月25日 後楽園ホール）  
○加藤善孝（角海老宝石） TKO1R1'31" 小池浩太（ワタナベ） ●#10
22. スーパー・バンタム級王座決定戦（8月6日 後楽園ホール）  
#1○大竹秀典（金子） 判定 中嶋孝文（ドリーム） ●#2
23. スーパー・フェザー級（9月1日 後楽園ホール）  
○金子大樹（横浜光） TKO2R1'39" 佐藤通也(石丸) ●#6
24. ライト・フライ級（9月26日 川崎市とどろきアリーナ）  
△黒田雅之（川崎新田） 判定 大内淳雅（角海老宝石） △#4
25. ミニマム級王座決定戦（10月2日 後楽園ホール）  
#1○原隆二（大橋） 判定 堀川謙一（SF マキ） ●#2
26. スーパー・ウェルター級（10月8日 後楽園ホール）  
○柴田明雄（ワタナベ） 判定 十二村喜久（角海老宝石） ●#1
27. ミドル級（10月8日 後楽園ホール）  
●湯場忠志(都城レオスポーツ) KO4R2'15" 佐々木左之介○#6
28. フライ級（10月31日 後楽園ホール）  
○粉川拓也（宮田） TKO9R0'50" 山口桂太（八王子中屋） ●#7
29. スーパー・ライト級（11月3日 後楽園ホール）  
○岩渕真也（草加有沢） KO 7 R2'51" 長瀬慎弥（フラッシュ赤羽） ●#4

30. ライト級（11月9日 後楽園ホール）  
○加藤善孝(角海老宝石) TKO5R2'53" 川瀬昭二(松田)●#1
31. スーパー・フライ級（11月23日 神戸サンボーホール）  
○帝里木下(千里馬神戸) 判定 大庭健司(FUKUOKA)●#7
32. スーパー・フェザー級（12月1日 後楽園ホール）  
○金子大樹(横浜光) TKO6R2'17" 加治木了太(大鵬)●#1
33. スーパー・バンタム級（12月10日 後楽園ホール）  
○大竹秀典(金子) 判定 瀬藤幹人(協栄)●#1
34. ウェルター級王座決定戦（12月21日 後楽園ホール）  
#2○高山樹延(角海老宝石) 判定 斉藤幸伸丸(輪島功一スポーツ)●#3
35. フェザー級（12月21日 後楽園ホール）  
○天笠尚(山上) 判定 脇本雅行(高砂)●#1

〔別表2〕海外での世界タイトルマッチに役員派遣

(内訳：WBC 3名、WBA 2名、OPBF 3名)

- 1 OPBFスーパー・フェザータイトルマッチ ロナルド・ポンティージャス対キム・ドンヒュク戦(1月15日 韓国・ウルサン)に中村勝彦ジャッジ。
- 2 WBCフライ級タイトルマッチ ポンサクレック・ウオンジョンカム対ソニー・ボーイ・ハロ戦(3月2日 タイ・チョンブリ)に福地勇治レフェリー、浦谷信彰ジャッジ。
- 3 WBC世界ライト・フライ級タイトルマッチ コンパヤック・CPフレッシュマート対ジョナサン・タコニング戦(5月3日 タイ・ブリラーム)に金谷武明ジャッジ。
- 4 WBA女子世界フェザータイトルマッチ 崔賢美対ロチオ・カスティーリョ戦(5月4日 韓国・ソウル)に島川威、原田武夫ジャッジ。
- 5 OPBFスーパー・ライト級タイトルマッチ ロメオ・ジャコサレム対金ミンウオク戦、OPBFスーパー・フェザー級タイトルマッチ 金ドンヒョク対ジョムトーン・チューワッタナ戦(いずれも5月26日 韓国・ソウル)に中村勝彦ジャッジ。
- 6 WBC世界ヘビー級タイトルマッチ ビタリ・クリチコ対マヌエル・シャール戦(9月8日 ロシア・モスクワ)に浦谷信彰ジャッジ。
- 7 OPBFフライ級タイトルマッチ ロッキー・フエンテス対李明浩戦(9月22日 フィリピン・セブ)に坂本相悟ジャッジ。
- 8 OPBFスーパー・ライト級タイトルマッチ 金ミンウオク対ダン・ナサレノ戦(1月26日 韓国・ソウル)に染谷路朗ジャッジ。